

流れる人々のオアシス

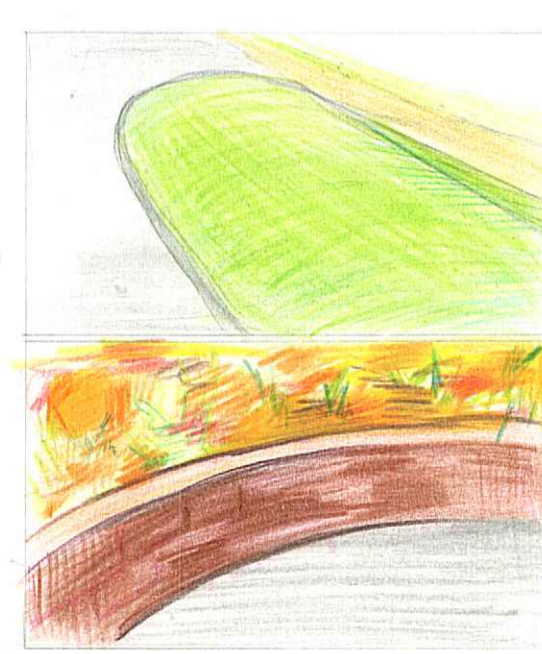
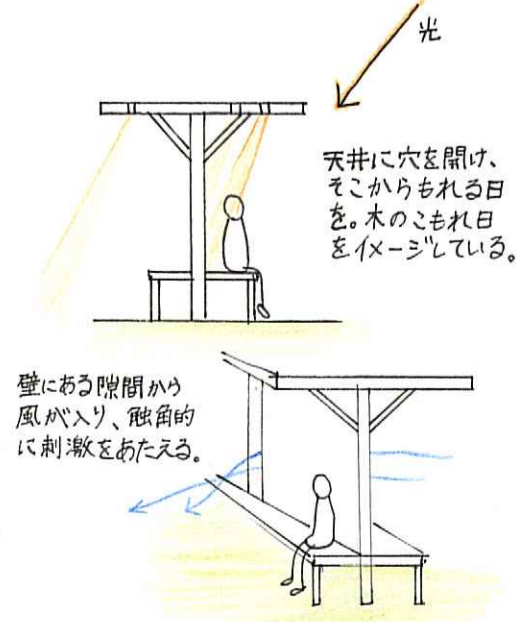
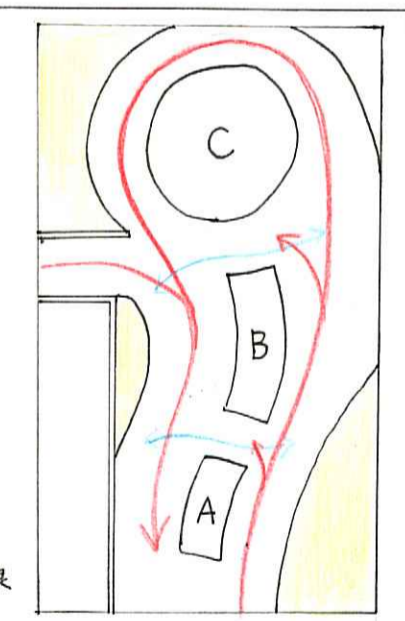
■ 仕組みについて

建物をカーブさせることで流れをイメージしました。ABCと分かれていて、Aが一番小さく、こじんまりとした感じに設計しました。小さく作ることで一人のスペースを大事にしています。Bは長めに設計し壁には穴が空いていたり隙間が空いています。風の通りをよくしたり、日差しを通しやすくしています。Cが一番大きな設計となっています。壁をなくし開放的な空間になるようにしました。真ん中には丸みを帯びた芝生がありそこで寝転がったり座ったりと自分の自由な姿で休憩ができると思います。



■ 形について

上から見た休憩所のようにカーブさせることで「流れ」を連想させる様な造りになっています。流れる様な動線。都会のオアシスとは何かと疑問になった時、一番初めに思ったイメージが「流れ」でした。都会に住む人々はたくさんの人の流れがあり、ビルに囲まれるそんなイメージがあります。そこからこの休憩所のテーマが流れになります。休憩所内には流れを連想させる椅子がありますが、中でも一番奥や、所々にある芝生によって「立ち止まる」「一息つく」という思いを込めました。芝生の上では座るのも寝転ぶこともできます。椅子には風が通る様にわざと壁に隙間を開け、風による流れをイメージさせます。天井には数ヶ所穴が空いているので日光が入るようにしています。



芝生

周りには丸みを帯びている芝生があります。外観を損なわないように元々ある芝生と続くように設計しました。

花壇

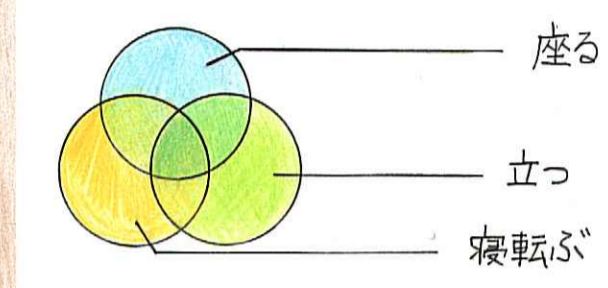
花壇はレンガでできています。季節の花で休憩所を色とりどりに飾ります。

■ コンセプト

流れる人々の中にぽつんとある休憩所。立ち止まり、自分の自由な姿で休憩できるだろう。時代の流れは早く、その様な中で流れに適応しながら生活しなければならない。そんな時代だからこそ立ち止まり休憩できる場所が必要だと思う。自然に囲まれ、心を癒す。そんな休憩所です。

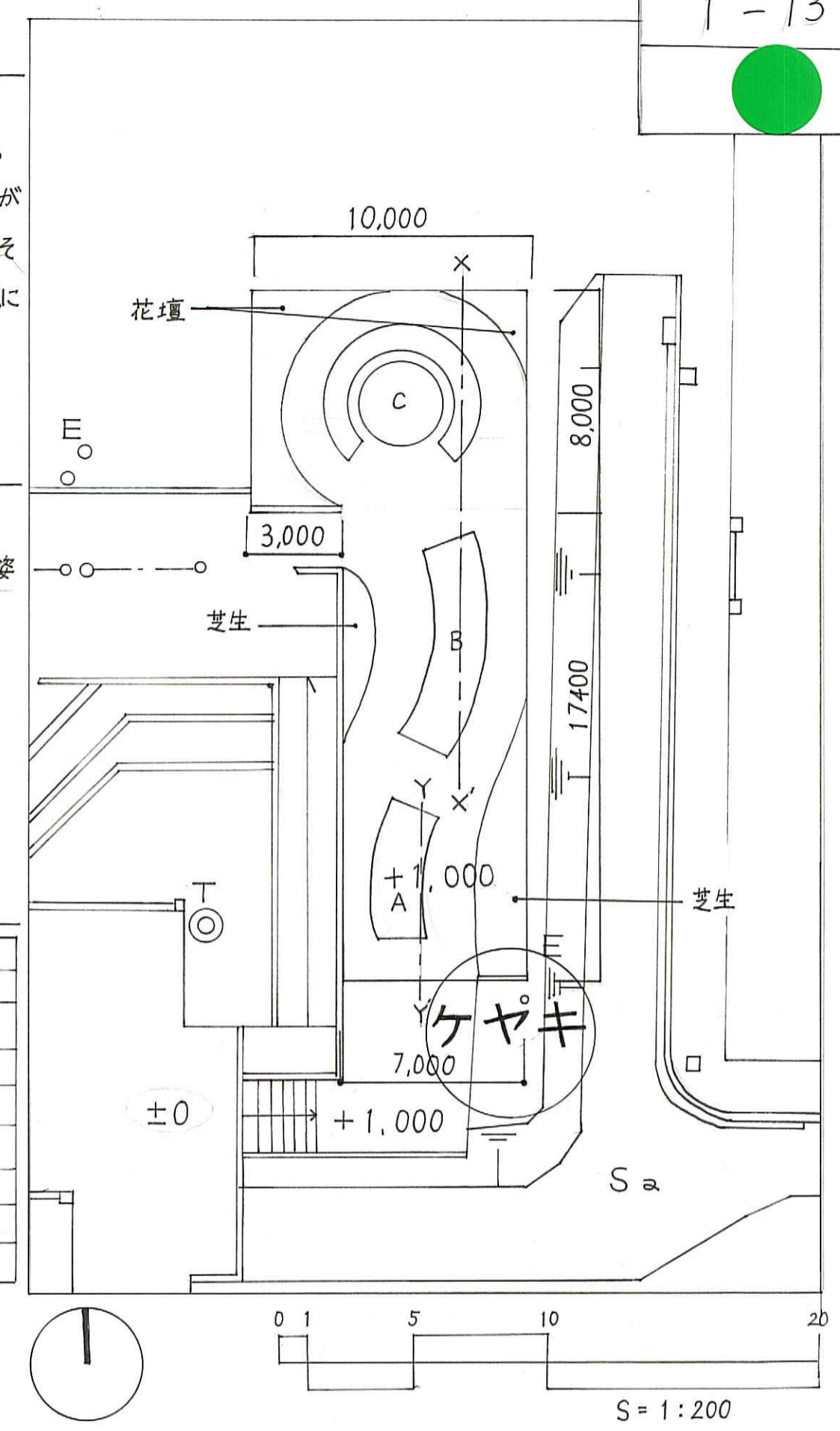
■ 利用者へのメッセージ

子供からお年寄りまで利用できます。自然の中で自由気ままに過ごし、芝生では自由な姿で休憩してほしいです。



■ 建築概要

構造	木造(別の構造を含む)
建築面積 A	7.5 m ²
建築面積 B	15.1 m ²
建築面積 C	9.7 m ²
外壁仕合せ	木材(ウリン)
屋根材	漆喰(左官仕合せ)
地面	石畳
花壇	煉瓦



■ 建築図面

